



# 環境活動レポート



エコアクション21  
認証番号 0008443



2018.2 新社屋

## 新社屋記念特別号

白鷺電気工業株式会社

対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日 発行：2018年12月1日

# Contents

Contents 01	会社概要	P1
Contents 02	企業使命感・存続6ヶ条	P2
Contents 03	環境活動方針	P2
Contents 04	実施体制	P3
Contents 05	環境活動負荷設定と環境活動目標	P4
Contents 06	環境活動計画 2017年度【第62期】	P5
Contents 07	環境活動計画の実績・取組結果とその評価	P6~7
Contents 08	環境活動履歴 2017.7~2018.6	P8~9
Contents 09	新社屋の紹介	P10~12
Contents 10	各部の取組	P13~16
Contents 11	八代支社の取組・しらさぎエナジーの取組	P17
Contents 12	代表者による全体の評価と見直し・指示	P18
Contents 13	環境関連法規への確認及び評価、違反・訴訟	P19
Contents 14	次年度の環境活動計画 2018年度【第63期】	P19
Contents 15	SDGsが掲げる17の目標にもチャレンジします	P20~21

# 1. 会社概要

1. 企業名 白鷺電気工業株式会社
2. 代表者 代表取締役社長 沼田 幸広
3. 所在地 本社 熊本市東区御領8丁目3番38号 (2018.2移転)  
八代支社 八代市宮地町1680  
福岡支社 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階  
京都支社 京都市右京区梅津南広町6-1 エスパシオ梅津4-A号  
人吉営業所 人吉市願成寺町1343-1  
鹿児島営業所 鹿児島市西千石町11-21 鹿児島MSビル6階  
水俣営業所 水俣市浜町1丁目2-22  
しらさぎエナジー株式会社 上益城郡益城町小谷2224-8
4. 事業規模
  - 1) 資本金 1億円
  - 2) 事業内容 電気工事業、土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、水道施設工事業、管工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、機械器具設置工事業
  - 3) 従業員数 119名 (2018.6.30現在)  
本社：74名 八代支社：35名 福岡支社：1名 京都支社：5名  
人吉営業所：2名 鹿児島営業所：1名 (情報通信部長兼務)  
水俣営業所：1名 しらさぎエナジー：5名 (4名は白鷺電気社員兼務)
5. 環境管理責任者名及び連絡先
  - 1) 氏名 環境管理責任者 安全品質環境管理センター長 二俣 治雄  
EA21推進担当者 安全品質環境管理センター 担当 谷本 里恵
  - 2) 連絡先 本社 電話：096-380-7171 FAX：096-380-7140  
<http://www.shirasagidenki.co.jp>



## 2. 企業使命感・存続6ヶ条

### 企業使命感

くらしと産業の礎をひらく パートナーシステムの 白鷺電気工業

### 存続6ヶ条

1. <安全> 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. <協調> 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. <技術> 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. <啓発> 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日、今日よりも明日と自分をみがきます。
5. <システム> 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行います。
6. <業績> 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げることで信用・業績を高めます。

## 3. 環境活動方針

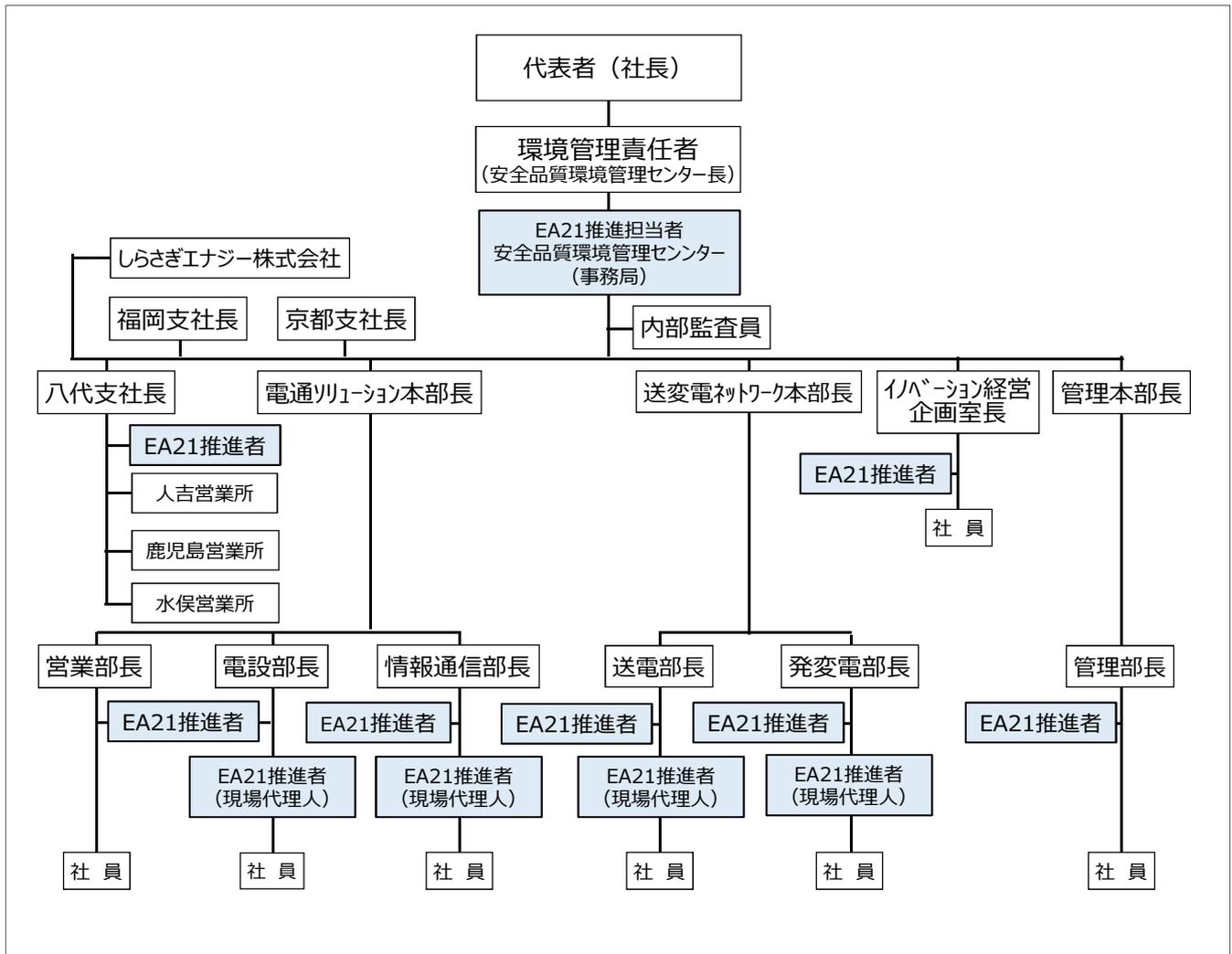
我社は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」を使命とし、事業活動において生じる環境への影響を最小限に抑えるために、以下の方針を基に環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。

1. 日常の業務において環境へ与える影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で次の各項目を環境管理の重点課題として取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
  - a. 建設機械及び車両の環境影響の低減
  - b. 事業廃棄物の発生抑制、再利用及びリサイクルの推進
  - c. 省資源・省エネルギーの推進
  - d. 水使用量の削減
  - e. グリーン購入の推進
  - f. 製品・サービスに関する環境配慮
  - g. 化学物質の適正な管理
2. 我社の事業活動に関わる環境関連の法規制及び、受入れを決めたその他の要求事項を遵守して、継続的に取り組みます。
3. この環境方針を全社員に周知し、これを理解し実践できるよう教育活動を推進すると共に、我社の環境保全活動について、ご理解ご支援を頂くために一般の方々にもこの環境方針を含め環境活動レポートを公開します。

制定 2011年12月1日  
改訂 2014年 9月1日

白鷺電気工業株式会社  
代表取締役社長 沼田幸広

## 4. 実施体制



順位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境活動方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の準備
環境管理責任者	代表者より委任をうけ環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境活動計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境活動レポートの確認と公表
EA21推進担当者 (事務局)	環境活動における事務局としての環境管理責任者の補佐 活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規の取りまとめ及び環境活動レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境活動の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者 (現場代理人)	環境活動の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
社員	環境活動方針、環境目標に沿った活動の展開 環境活動における改善点の提言

## 5. 環境負荷設定と環境活動目標

### 5-1 環境負荷設定

項目		2013年～2015年の最低値	2013年実績	2014年実績	2015年実績
二酸化炭素排出量	総排出量	316,197kg-CO <sub>2</sub>	351,872kg-CO <sub>2</sub>	335,543kg-CO <sub>2</sub>	316,197kg-CO <sub>2</sub>
	電力	87,881kWh	*85,215kWh	90,074kWh	87,881kWh
	ガソリン	73,451 ℓ	89,575 ℓ	82,035 ℓ	73,451 ℓ
	軽油	30,411 ℓ	31,181 ℓ	30,411 ℓ	32,244 ℓ
	灯油	3,409 ℓ	4,461 ℓ	4,539 ℓ	3,409 ℓ
一般廃棄物排出量		8,380kg	8,380kg	9,535kg	10,762kg
産業廃棄物排出量		16,612kg	21,921kg	19,837kg	16,612kg
水使用量		550m <sup>3</sup>	*425m <sup>3</sup>	550m <sup>3</sup>	580m <sup>3</sup>
化学物質購入量		316 ℓ	1,683 ℓ	491 ℓ	316 ℓ

(注記) \*電力は、京都支社を加えた2015年実績を基準とする。  
\*水使用量は、2012年の10月よりメーターが設置されたため、2014年実績を基準とする。

### 5-2 環境活動目標

\*2013年～2015年実績の最低値を基準とし、目標の中期計画を立てた。

区分	項目	基準年	3年間の目標		
		2013年～2015年の最低値	2016年目標	2017年目標	2018年目標
二酸化炭素排出量の削減		316,197kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲1% 313,035kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲2% 309,873kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲3% 306,711kg-CO <sub>2</sub>
電力の削減	電力の削減	87,881kWh	基準年度比▲1% 87,002kWh	基準年度比▲2% 86,123kWh	基準年度比▲3% 85,245kWh
			ガソリンの削減	73,451 ℓ	基準年度比▲1% 72,716 ℓ
	軽油の削減	30,411 ℓ	基準年度比▲1% 30,107 ℓ	基準年度比▲2% 29,803 ℓ	基準年度比▲3% 29,499 ℓ
			灯油の削減	3,409 ℓ	基準年度比▲1% 3,375 ℓ
	一般廃棄物排出量	一般廃棄物削減(リサイクル率向上) 8,380kg	基準年度比▲1% 8,296kg	基準年度比▲2% 8,212kg	基準年度比▲3% 8,129kg
			産業廃棄物排出量	16,612kg	基準年度比▲1% 16,446kg
	水使用量	水使用量の削減 550m <sup>3</sup>	基準年度比▲1% 545m <sup>3</sup>	基準年度比▲2% 539m <sup>3</sup>	基準年度比▲3% 534m <sup>3</sup>
			グリーン購入	グリーン購入の推進 4件	基準年の1種類増加 5件
環境に配慮した事業活動	社会への啓発活動の推進	販売・イベント参加：4件/年	販売・イベント参加：4件/年	販売・イベント参加：5件/年	販売・イベント参加：6件/年
化学物質の管理	化学物質削減適切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
		1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期

(注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は2015年度九州電力の実排出係数0.598を使用する。  
2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿った適切な取扱いと管理の実施を行う。

## 6. 環境活動計画 2017年度【第62期】

\* 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目		活動の具体的内容	活動場所	担当部門
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	車両管理表への記入徹底を呼びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門 安品環推進室
			エコドライブとエコサム導入による燃費向上	業務中・通勤	
2	環境配慮	省エネ省コスト提案	HEMS・省エネ関連製品の提案・導入促進	市場	営業部、電設部 イノベーション経営企画室
			八代支社の空調見直し	八代支社	電設部
		環境活動ボランティア活動の拡大	植林地下草刈り	南阿蘇村	NPO法人しらさぎ
			地域に役立つ社会貢献として熊本城と八代城跡の清掃活動	熊本市 八代市	
			マイ・リバー・サポートへの参加	熊本県	営業部
		グリーンエネルギー事業の活用	太陽光発電所発電事業	本社 益城町	営業部・電設部 しらさぎエナジー
3	産業廃棄物	現業部門排出量実態把握	マニフェストの管理と分別収集の徹底	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 間接部門
4	電気・水使用量	電気・水使用管理	使用量の把握と削減	本社・八代支社 京都支社	管理本部 安品環推進室
5	化学物質	SDSに基づく適正管理	倉庫の整理・整頓（SDS製品の徹底管理）	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 安品環推進室
6	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と部会に参加し環境教育を実施する	本社・八代支社 各建設現場	安品環推進室
		各事業所単位の環境活動支援	地域ボランティアによる環境配慮	本社・八代支社 人吉営業所	発変電部、送電部 情報通信部 電設部、管理本部
			グリーンカーテンの実施	本社・八代支社	管理本部
			グリーン調達の推進		
		EA21取組み	EA21環境教育と意識の向上 エコ検定	本社・八代支社 各建設現場	送電部 管理本部 安全品環推進室
整理整頓	働きやすい環境作り、また本社移転に伴い書類の保管・廃棄	本社	全部門		



1F ロビー

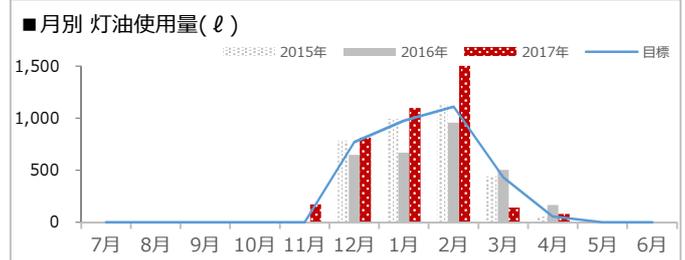
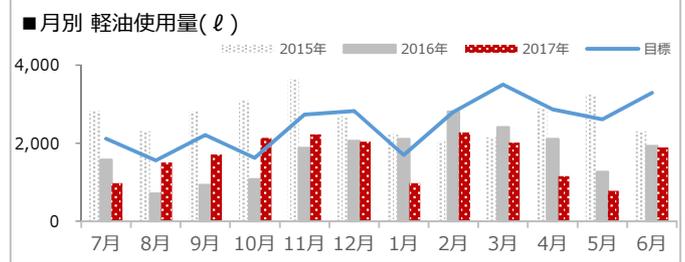
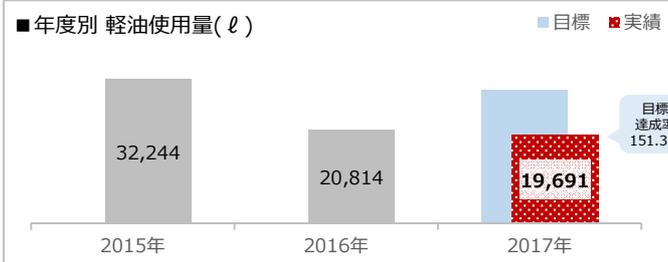
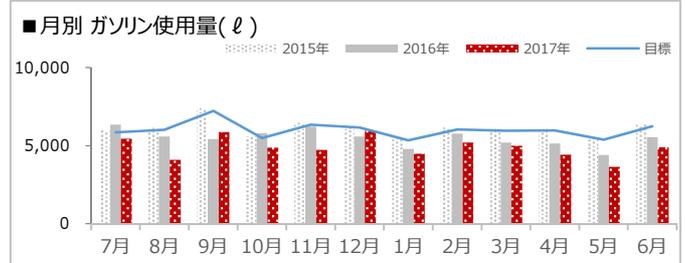
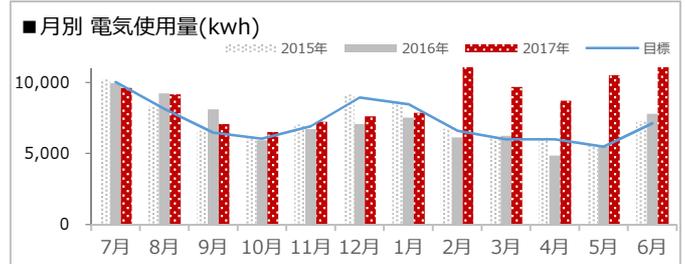
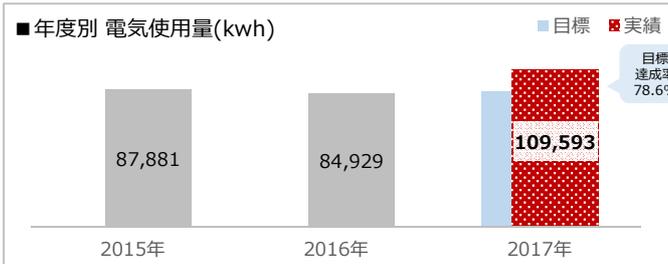
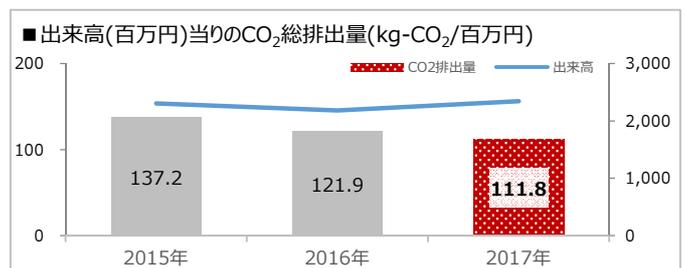
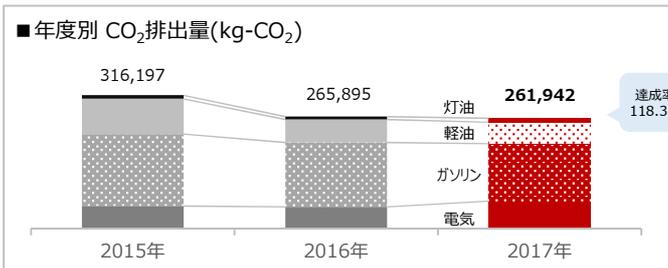
# 7. 環境活動計画の実績・取組結果とその評価

## 環境目標と取組実績（運用期間：2017年7月～2018年6月）

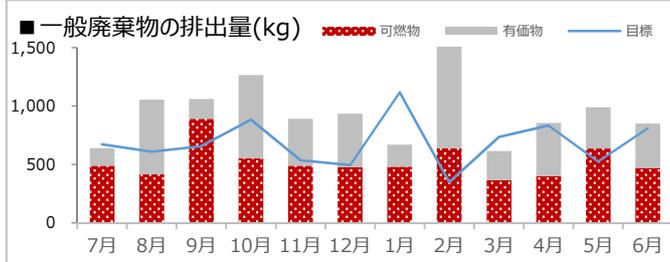
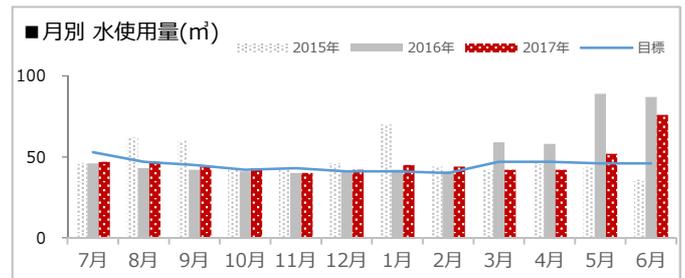
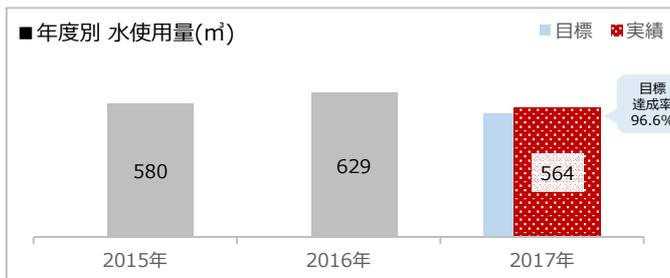
### 7-1 環境経営実績

\* 数値目標は2013年～2015年実績の最低値を基準とし、2%削減を環境目標とした。

項目	基準年 2013年～2015年実績 の最低値	2017年 対象期間		
		目標値	実績	達成度
CO2総排出量	316,197kg-CO <sub>2</sub>	309,873kg-CO <sub>2</sub>	261,942kg-CO <sub>2</sub>	118.3%
電気使用量	87,881kWh	86,123kWh	109,593kWh	78.6%
ガソリン使用量	73,451ℓ	71,982ℓ	58,579ℓ	122.9%
軽油使用量	30,411ℓ	29,802ℓ	19,691ℓ	151.3%
灯油使用量	3,409ℓ	3,341ℓ	3,804ℓ	87.9%



項目	基準年 2013年～2015年実績 の最低値	2017年 対象期間			
		目標値	実績	達成度	
水使用量	550m <sup>3</sup>	539m <sup>3</sup>	564m <sup>3</sup>	96.6%	😊
一般廃棄物の排出量	8,380kg	8,212kg	11,385kg	72.1%	😞
産業廃棄物の排出量	16,612kg	16,280kg	26,075kg	62.4%	😞
グリーン購入	4件	6件	6件	100.0%	👑
環境活動に配慮した事業活動	参加：4件/年	参加：5件/年	参加：4件/年	80.0%	😊
化学物質購入実績	316ℓ	—	350ℓ	—	—

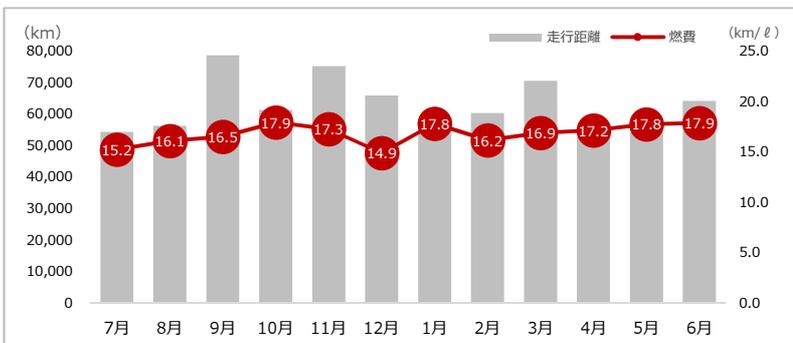


2018年2月に新社屋へ移転したため、各項目で値に影響が出ています。今回は前年と比較することが出来ませんでしたが、参考値として掲載しました。

- ・【電気】 2月新社屋移転の影響で電気使用料が1.3倍増加しましたが、これはエアコンの試験運転を実施したためです。
- ・【ガソリン】 車両更新時に燃費の良いハイブリッド車へ切替えたため、ガソリンの使用量・CO<sub>2</sub>排出量を軽減する事が出来ました。
- ・【軽油】 軽油の使用量が減少したのは、作業現場が比較的近距离だったためと考えられます。
- ・【灯油】 新社屋では灯油は使用しないが、旧社屋での使用が高かったため、使用料が増加したと思われます。また本社で使用したストーブは、支社や現場事務所等でリサイクルとして活用していきます。
- ・【水】 6月より新社屋の水道使用量が増加したのは、地中熱換気システムで水との熱交換で使用しているのが原因です。
- ・【廃棄物】 引越しに備え、社屋及び倉庫の整理整頓を実施したので排出量が増加しました。移転後表示札をリニューアルし、分別をさらに分かりやすくしました。

## 7-2 燃費向上への取組

(平均燃費 16.8km/ℓ ハイブリッド車を含む)



## 白鷺燃費 No.1 グランプリ (Km/ℓ)

普通ハコバン部門			軽ワゴン部門		
部門	号車	燃費	部門	号車	燃費
1	変電部 28	15.66	通信部	H011	18.03
2	送電部 H009	15.41	変電部	H010	17.73
3	送電 39	14.84	電設	H008	17.36

## 環境に優しいエコカー所有台数

ハイブリッド車 (HV)	5台
プラグイン・ハイブリッド車 (PHV)	2台
電気自動車 (EV)	3台
計	10台

全体の 20.4%

前期の平均燃費15.0km/ℓ から比較すると、約12%燃費がアップしました。またハイブリッド車 (PHV 1台) や燃費の良い車 (10台) への切り替えも、燃費向上の効果があつたと思います。今後も「まとめてクルマテクス」の報告書などを参考にし、燃費向上・コスト削減に努めたいと思います。

# 8. 環境活動履歴 2017.7~2018.6 夏・秋



## 2017 夏

7/10	熊本城清掃ボランティア	総勢240名 地震の影響で場所が限定された。今後も熊本城復興に貢献していきます。
8/5	八代城跡・水島清掃ボランティア	総勢175名 今夏は例年以上の猛暑が続きましたが、大きな事故もなく実施できました。
9/30	南阿蘇下草刈りボランティア	総勢43名 南阿蘇村造林地0.32haを、刈払機と鎌を使い2時間で完了！



7/1 熊本城清掃ボランティア



8/5 八代城跡清掃ボランティア



9/30 南阿蘇下草刈ボランティア



## 2017 秋



11/17	EA21レポート大賞・九州表彰式	初となる「大賞」を受賞。Prezi（プレゼンソフト）による事例発表もありました。
11/18	本社火災訓練	火元は2階給湯室と想定し、水消火器を使用しての訓練でした。



11/18 本社火災訓練



11/8 託麻北小学校から会社見学



12/28 大掃除 5Sに努めます



## 受賞・認定



8/31 熊本県森林吸収量認証書交付



9/14 ドライブレコーダーデータ提供に関する協定（熊本東警察署）



11/17 EA21レポート大賞・九州「大賞」受賞



2018 冬

1/10	機密文書回収	2月の社屋引越しに備え、整理整頓に努めました。
2/15	新社屋 竣工式	新本社社屋が1月末に完成。環境に優しい、震災復興の象徴と位置付けたビルです。
3/3	安全の日	「コンプライアンス」に関する講習会等を実施しました。



1/10 機密文書回収



2/15 新社屋竣工式



3/3 「安全の日」



2018 春



6/9	南阿蘇植林地地下草刈ボランティア	総勢53名 刈払機を14台に増やし予定より早く終了しました。
6/25	中期経営計画策定	「さらに地域と共に歩む」 ボランティア延べ参加人数目標 3,000人（3か年）とした。



4/1 安全品質環境管理センター



6/9 南阿蘇植林地地下草刈ボランティア



6/25 中期経営計画策定

安全品質環境推進室を  
安全品質環境管理センターへ改正  
安全・品質・環境に関する役割を  
「推進」から「管理」する立場へ強化  
監視業務の受託



**Toward the future 2020**

『Toward the future 2020』  
(中期経営計画のテーマ)

鉄塔 (Tower) の一番上を目標と設定し、社員一同未来に向かって歩む企業という願いを込めて作成しました。

その他



1/5 TV CMの放映を始めました

従業員・協力業者ボランティア人数

**511** 人

プラスα (部の取組)



# Net Zero Energy Building

本社ビルのZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)への取り組み。

次世代の暮らしを考える中で、環境への負荷を低減することは企業としての責任と感じています。2018年に竣工した新本社ビルは、高性能な省エネ設備と太陽光エネルギーの積極的な活用、オフィスビルでは日本発の直流配電+直流給電照明など最新のシステムを導入し、正味で75%以上の省エネルギーを達成して、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近づけた建築物に与えられる、「Nearly ZEB」に認定されました。



## スマート直流配電ネットワークシステム

国内オフィス初の直流配電+直流給電照明のシステムを採用。省エネとロ・コストを実現し、Nearly ZEBの実現に貢献しています。また、各照明には人感センサーを採用し、省エネ効果をさらに高めています。



## 建屋外皮の高断熱化

Low-E複層ガラスや高度の外皮断熱などを採用した優れた断熱工法で、外気温に左右されない室内環境を実現しています。



## 太陽エネルギーの利用

枯渇しない太陽エネルギーをソーラーパネルを用いて電気と給湯に無駄なく活かしています。

## 地中熱利用換気システムの採用

年間を通じて一定の温度を保っている地中熱を利用して、ビル内の空調に自然の力を活かしています。また、空気の循環時に地下水に空気を当てる事により、空気の清浄と適切な温度を保っています。



地球環境のために一歩。

# Employee Assistance Program



## 生き生きと輝き、安心して働ける環境づくり

社員の心とカラダの健康のために、また安心してイキイキと働ける環境作りに取り組み、2016年より発足した熊本県の「ブライト企業」に認定されています。また、熊本地震の経験を踏まえ2018年に完成した本社ビルは、災害に強いだけでなく、災害時に緊急対応が必要な社員が安心して働けるよう、また社員の家族も避難できるように設計されています。さらに女性が活躍できる快適な環境、縛りのない自由な発想が生まれるフリーアドレス制やスタンディングデスクの導入、ブレイクタイムのためのカフェコーナー、照明や地中熱を利用した空調・湿度の最適化など、多角的な視点から社員の能力と健康が守られる環境を整えています。

女性の発想から生まれた執務室のカフェスペース



女性から希望が多かったパウダールームを女子更衣室に設備



本社ビルは耐震最高等級3相当の補強を施し、食料の備蓄や簡易ベッドも設備



縛りのない空間で広がる人の輪、穏やかなフリーアドレス制の導入



幸福度 No.1 企業へ。

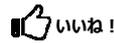
# 社員が選ぶ「いいね！」

## 移動棚



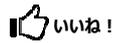
保管・管理に優れていて、作業効率が改善されました。また見える化によって在庫管理・定位置管理も出来るようになりました。

## 電子黒板



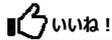
本社支社間でリアルタイムに情報を共有し、テレビ会議で大活躍。また画面を保存・印刷出来るので、紙・時間の削減に効果大。

## レターケース



個人用のレターケース設置で、書類の紛失や配布の手間を削減。毎朝ここをチェックすることがルーティンになっています。

## ランチスペース



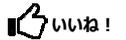
Low-E複層ガラス採用で、夏は涼しく冬は熱を外へ逃がしません。外の景色を見ながらの食事Good!

## Shiro CAFÉ



仕事の合間のお気に入り、自分好みにコーヒーをカスタマイズ。ブレイクタイムのためのカフェコーナーです。

## 作業エリア



ステーションリーやペーパーカッター・ラミネーターなど作業に必要なものを1箇所に集約。探す手間が省け経費も削減できます。

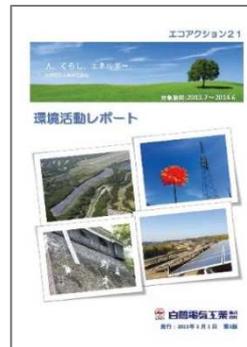
## 2012年初刊から2018年までの「環境活動レポート」



2012年7月初刊



2014年4月発行  
第7回「環境活動レポート大賞・九州」  
エネルギー部門賞 受賞



2015年3月発行



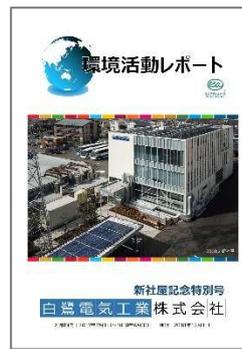
2015年12月発行  
第9回「環境活動レポート大賞・九州」  
九州地方環境事務所長特別賞 受賞  
第20回「環境コミュニケーション大賞」  
優良賞 受賞



2017年5月発行  
第10回「環境活動レポート大賞・九州」  
大賞 受賞



2017年12月発行  
第11回「環境活動レポート大賞・九州」  
選考委員会特別賞 受賞



2018年12月発行

■ 認証・登録番号  
0008443

■ 認証・登録日  
2012年6月26日

# 10. 各部の取組 発変電部

## 今期取組と評価

評価：S

■地域ボランティア活動による環境配慮  
変電所や周辺の除草作業やゴミ拾いを実施した。来期も継続し実施します。

日付	場所	白鷺	協力会社	日付	場所	白鷺	協力会社
2017.7.3	菊池川第三発電所	1人	6人	2018.2.8	南熊本変電所	2人	-
2017.8.2	銀座橋変電所周辺	1人	2人	2018.3.5	坪井変電所周辺	2人	2人
2017.9.21	大江変電所周辺	1人	2人	2018.3.12	熊本変電所周辺	1人	2人
2017.9.28	東浜変電所	2人	2人	2018.3.30	伊倉変電所	3人	2人
2017.11.14	JR新坂本変電所	1人	2人	2018.4.13	日吉変電所	2人	2人
2017.12.11	古屋敷発電所	1人	2人	2018.5.14	伊倉変電所	1人	2人
2018.2.2	黒川第三発電所	4人	-	2018.5.28	日吉変電所	5人	3人

参加人数  
延べ56名



■SDS製品の現場での管理  
現場では持ち出し専用の管理BOXを用い適切に管理を行っています。



地域ボランティアでは昨年より多い14箇所  
所で清掃活動が実施できました。今後も  
継続実施し、清潔な街づくりのお手伝いを  
積極的に行っていききたいと思います。  
車両運転時は、急発進・急停止しない  
よう心がけて、燃料消費を抑え、  
CO<sub>2</sub>、NOx、SOxの排出量の低減につなげ  
たいと思います。



## 送電部

### 今期取組と評価

評価：A

■支社周辺のゴミ拾い及び清掃活動実施

部会時及び現場作業にあわせ、ボランティア活動を実施しました。現場周辺での清掃ボランティア活動は、地域住民との調和も考慮し、今後も実施していきます。



■エコ活動の推進

EA21で取組んでいる環境活動についての勉強会を実施しました。また、「エコ検定」の問題集を参考にして認識度テストを実施しました。



今期は「エコ活動」への理解度向上を目的  
とした、身近な内容を抜粋した問題を作成  
し、部会時にテストを実施しました。



八代支社花壇の剪定実施

副長自ら剪定を実施

地元の自治会の依頼で、半年に1  
回のペースで支社周辺を草刈り・  
剪定しています。専用のバリカンも  
手馴れたものです。



部員全員で環境配慮活動  
への意識高揚を図り、環境  
にやさしい現場を造ります。

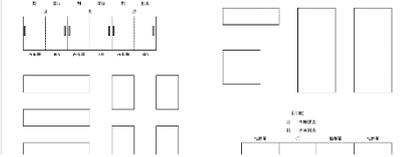
## ■ 保管書類のビジュアルマネジメント

保管文書をエリア分けし、管理担当者(正・副)を決定しエリア表を作成し、文書棚に明記し管理担当者を明確にしました。チェックシートを作成し、書類の保管状況や管理状況を月1回、部長と担当者が確認する事によって必要ない書類は処分し、大切な書類はデータ化する事によって、書類の見える化と大幅な書類削減が実現できました。

保管書類チェックシート

保管書類チェックシート						
(平成29年～30年)	10月14日	11月18日	12月16日	1月6日	2月20日	
確認場所	本社	本社	本社	本社	新本社	
確認者	担当 部長	担当 部長	担当 部長	担当 部長	担当 部長	
1 書類の保管状況は良いか。	○	○	○	○	○	○
2 書類の管理状況は良いか。	△	△	△	○	○	○
3 書類の廃棄状況は良いか。	△	△	△	○	○	○
4 書類のデータ化は進んでいるか。	×	×	×	△	△	△

エリア表



煩雑になりがちな資料が整理され、業務の効率化が図れました。

## ■ 旧社屋から新社屋の引越しが書類を削減する事によってスムーズに行う事が実現できました。旧社屋(引越し前)はダンボール約35箱→新社屋(引越し後)はダンボール8箱まで削減



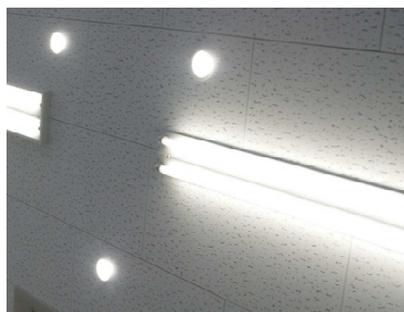
書類の見える化によって整理整頓された書棚

書類の保管場所をそれぞれの担当者を明確にする事で部員全員が書類に対して意識するようになり、不要な書類は破棄し、印刷する量も削減する事ができ、経費の削減にも繋がりました。書類が見える化され、整理・整頓されていると仕事の効率も上がり、今回部員全員で取り組む事ができ良かったです。



## ■ 八代支社の照明の取替え

蛍光灯に比べLEDの寿命が約3倍、消費電力についても年間約7,500kwh削減できる事から、今回蛍光灯からLED照明に取替を実施しました。電気料金でも年間¥165,000程度の経費削減が見込めます。



## ■ 八代支社の空調見直し

CO<sub>2</sub>削減を考えた場合、年間通して省電力エアコンを使用した方が環境的に良いと思われます。年間を通じた電力料金を試算すると、事務所動力 ¥486,029 エアコンを更新した場合、基本料金と使用料金を換算すると約9万円の削減可能となります。

空調は、旧本社で使用した室内機・室外機をリユースし取付するため、来期の目標とします。(2018.8月実施予定)



## ■ 工事現場における清掃活動の参加



県立美術館 清掃活動状況



県立美術館 清掃活動状況

電設部では、公共工事現場の清掃活動及び事業所の空調設備工事を行っています。また、地域ボランティアでは作業場周辺をゴミ拾い等を実施し、きれいで住みやすい熊本を維持出来る事を願い頑張っています。



# 営業部

## 今期取組と評価

評価：A

### ■環境方針に基づく環境影響の削減及び抑制活動

エコサムを利用し二酸化炭素低減と地球温暖化防止のため、地球にやさしい運転の実施を行いました。



部の平均 5.87

今後もエコサムを活用し、環境に優しい安全運転が出来るよう取り組みます。また「運転レポート」を参考にし、急加速や急発進を改善していきます。

#### エコサムで期待できる効果

- ・省エネ運転で、燃費が向上します。
- ・燃費が向上することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。
- ・穏やかな運転で、交通事故が激減します。
- ・企業イメージも向上します。



やさしい運転を心がけてます。

### ◆くまもと マイ・リバーサポート事業

昨年に引き続き、今年も年2回、白川河川の鹿帰瀬地区の約1kmの清掃を行いました。



営業部で取り組みました白川河川敷き鹿帰瀬地区のマイリバーサポート事業も本年で6年目となり年中行事のひとつとなっています。今後も河川の清掃活動を続けて行きたいと思います。



EA21 Promoter  
Ida

# 管理本部

## 今期取組と評価

評価：A

### ■エコサムによるCO<sub>2</sub>の削減とエコ運転の取組み

	波状運転指数 (部員平均)
第1四半期	5.378
第2四半期	4.752
第3四半期	5.368
第4四半期	5.778
平均	5.329

波状運転指数、平均 **5.329**

部員平均で合格点は達成できたが、優良ドライバーには到達できませんでした。運転レポートにより運転中の注意事項など明確になりわかりやすかったです。今後も運転レポート等を参考にし、部員全員で優良ドライバーを目指していきます。

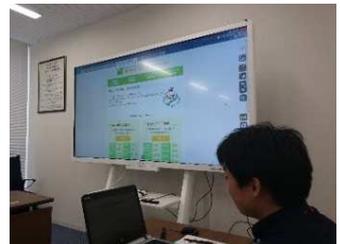
#### 【エコサム】

GPS車載端末。走行中の無駄な加減速等で発生するエネルギーロスを数値化（波状運転指数）し運転を評価する。

- ◆ 5点～8点未満 合格点
- ◆ 5点以下 優良ドライバー



### ■エコ活動に関する勉強会の実施



2ヶ月に一回のペースでエコ活動に関する勉強会の実施。  
 ・環境の保全取組み（自治体）  
 ・衣食住のエコ活動  
 ・再生可能エネルギー など

部員それぞれ、エコ活動に関する題目で資料を作成し、勉強会を実施しました。地球規模の環境問題から身近なところのエコ活動など、改めて環境意識が高まりました。

エコサムでデータの確認をすることで注意事項や数値を明確にすることができました。環境意識の向上と『エコ運転』の更なる向上を目指していきます。



来期は、ペットボトルキャップを回収して、リサイクル活動を実施します。



EA21 Promoter  
Fukuda

## 今期取組と評価

評価：B

- 本社のZEBランクアップ  
駐車場のカーポート屋根部分に設置した太陽光発電パネルを増設し、省エネ率を改善しました。

省エネ率	50%以上	75%以上	100%以上
ZEBランク	ZEB Ready	Nearly ZEB	ZEB

ZEB ReadyからNearly ZEBへ

- カーポート上に設置している太陽光パネル増設



今回、増設した部分

7.86kW→9.6kW、省エネ率74%→75%

- BELS再申請

建築物の省エネ性能表示のガイドラインに基づく第三者認定制度(BELS)で再申請し、ZEBランクアップ(Nearly ZEB)を達成しました。

## Nearly ZEBの評価書



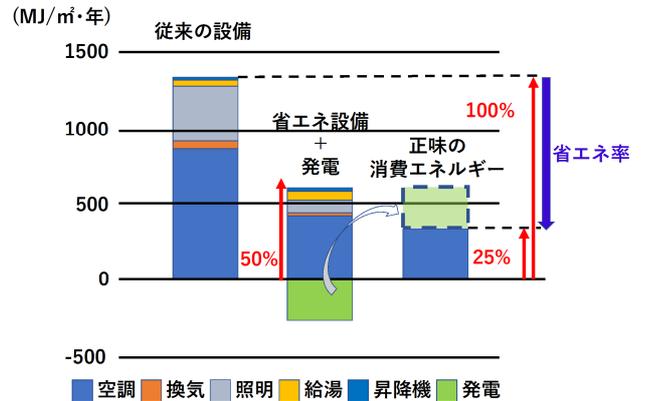
今回の本社ビルは先進的な設備も多数取り入れたものとなっています。そのため注目度も高いですがZEBランクひとつ上上げられたことでさらに全国の皆さんに知られやすくなったと思います。これからもZEBリーディング・オーナーとして環境にやさしいZEBの普及に貢献していきます。

EA21 Promoter



Sanada

## ZEBのエネルギーの考え方

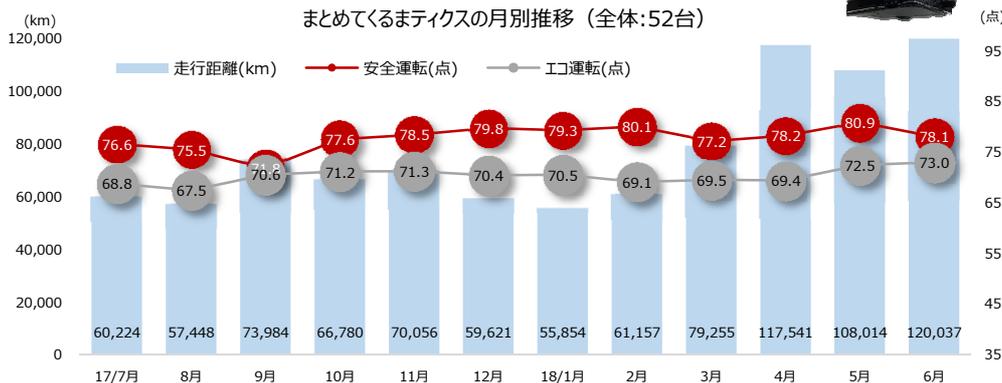


# 安全品質環境管理センター

## 今期取組と評価

評価：A

- 燃費向上によるCO<sub>2</sub>削減  
・まとめてくるまティクスの運用



## 部門別のランキング

No.	部	エコ運転	安全運転
1	イノベーション	89.1	97.5
2	送变电N本部	78.0	63.2
3	発電電部	75.6	80.0
4	管理部	75.1	77.7
5	営業部	75.0	83.8
6	情報通信部	73.9	81.9
7	電設部	69.9	80.5
8	送電部	61.5	80.4
9	安品環	57.3	68.6
	平均	72.8	79.3

まとめてくるまティクスは、テレマティクス、通信、クラウドの技術を組み合わせた「車両運行管理サービス」です。通信機能付きのドライブレコーダーを各車両に設置することにより、運転状況の「見える化」を実現することを目的としています。

診断した結果、部門別ではイノベーション経営企画室が「エコ運転」「安全運転」項目で1位を獲得する事が出来ました。日報や月報の数字を確認する事で、エコ運転や安全運転を意識するようになりました。来期も引き続き運用していきたいと思ひます。

- その他の取組



今までは、エコサム、まとめてくるまティクスを併用して使用していましたが、今後は契約終了に伴い性能の良い通信型ドラレコを調査し、検討したいと思います。

EA21 Promoter



Tanimoto

# 1 1. 八代支社の取組

## 今期取組

### ■ 2017.12 EA21更新審査にて



産業廃棄物は、廃プラ・金属くず・ガラスコンクリートくずなどに分別され、定期的に処理業者に委託しています。審査では、「多種類に及ぶ分別活動が徹底している」と評価されました。今後は3R（Reduce, Reuse, Recycle）を実践し、ごみの減量・適正処理に努めます。

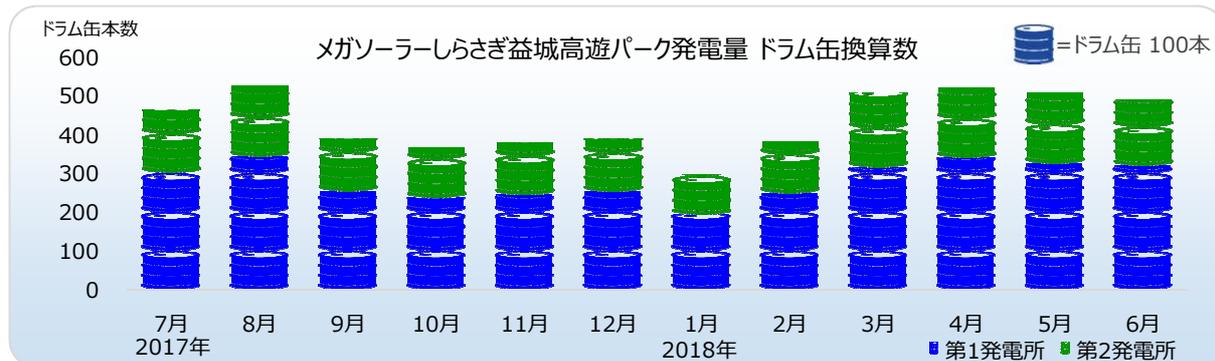


発電倉庫及び送電倉庫は、整理・整頓が非常に出来ていて、工具等は持ち出しやすいように維持管理しています。今後も、5Sを徹底し作業のしやすい環境づくりを実践します。

# しらさぎエナジーの取組

## 今期取組

### ■ しらさぎ益城高遊パーク発電所



### ■ しらさぎ旧保養所



「しらさぎ旧保養所」の出力抑制のための通信機器増設工事は、出力抑制のスケジュールを取得するためパソコン内に通信機器（ポケットWi-Fi）を増設しました。

今回は、しらさぎエナジーのもう一つの小さな発電所「しらさぎ旧保養所」通信機器増設工事（2017年9月）をご紹介します。この一年大きなトラブルもなく、順調に稼動しています。

来期はメガソーラー-しらさぎ益城高遊パーク発電所の特別点検を予定しています。



EA21 Promoter



## 1 2 . 代表者による全体の評価と見直し・指示



ごあいさつ

3F 執務室

白鷺電気工業は昭和22年の創業以来、九州電力様と共に便利で快適な暮らしを支える、電気・電力に関するインフラの整備に力を注いでまいりました。

創業から70余年の間に、電気の活用の幅は大きく広がりました。海を越えた遠い国の人と瞬時に繋がるのも、宇宙にいる飛行士の今を知ること、世界の人々がインターネットを通して魅了される感動のコンサートも、不治の病と言われた難病を直す薬の開発も、全ては電気エネルギーが広げた未来の姿でした。そして電気エネルギーは低炭素社会に向けて、子どもたちと未来の子どもたちのために、ますます大切なエネルギーであり続けます。

無限の可能性を持つ子どもたちのために、白鷺電気工業はこれからも、子どもたちがワクワク、ドキドキする夢ある未来を、電気エネルギーと共に創造してまいります。

2018年11月

### 代表者による全体の評価と見直しの結果

省エネを行うためには、着実なエネルギー管理を実施する必要があります。今後は、「EA21推進委員会」などの管理体制を強化させ、エネルギーの見える化や設備・機器等の運転や保守の改善に取り組んで下さい。

また、普段から取り組んでいる節電や節水、社員の福利厚生などは「SDGs」と繋がっています。まずは社員と考えを共有するための社内研修の場を設け、色々なアイデアを出し合っ、是非「SDGs」の目標に向かってチャレンジして下さい。



白鷺電気工業株式会社  
代表取締役社長 沼田 幸広

### 1 3 . 環境関連法規への確認及び評価、違反・訴訟

環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。周辺住民からの環境苦情、訴訟についてもありませんでした。

法規制等	遵守事項（法規制/自主規制）	遵守評価
家電リサイクル法、PCリサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ）・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
自動車リサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ）・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処置（発生時のみ）・処理委託書提出、処理報告書の受理 ・特定施設の自主点検の実施	○
建設リサイクル法	・工事に係る分別、再資源化の実施・再資源化完了の書面報告 ・対象工事の7日前までの市町村長への届出	○
騒音規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m） ・作業敷地境界にて85デシベル以下・空調機（本社・支社）の届出	○
振動規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m）・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管・委託契約書（5年間保存） ・マニフェスト伝票管理（5年間保存）・産業廃棄物管理表交付、状況報告 ・産業廃棄物の運搬（運搬車への表示・マニフェスト伝票の携帯）	○
消防法	・市町村条例で定める（指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ届出）	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	・適切な調査、設計、施工及び管理を行う・リサイクルの結果を確認し、記録を保存	—
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガスの規制	—
悪臭防止法	・塗料等を使用する場合の作業量や時間帯の検討	—
P R T R法	・排出量、移動量の把握、届出	—
水質汚濁防止法	・知事に60日前までに届出・測定を実施（記録の保存3年間）	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出・生活環境項目については、条例による	○
毒物及び劇物取締法	・ケトンその他化学物質の表示、保管	○
地下水保全条例	・ポンプ（本社）の届出	○
浄化槽法	・定期点検、法定点検の実施	○

### 1 4 . 次年度の環境活動計画 2018年度【第63期】

\* 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目	活動の具体的内容	担当部門	
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等 燃料使用状況の精度向上	車両管理表への記入徹底を呼びかけ、燃費を管理する	全部門 安全品質環境管理センター
2	環境配慮	省エネ省コスト提案	省エネ関連製品の提案・導入促進	営業部、電設部 イノベーション経営企画室
		環境活動 ボランティア活動の拡大	地域に役立つ社会貢献として熊本城と八代城跡の清掃活動、植林地下草刈り マイ・リバー・サポートへの参加	NPO法人しらさぎ 営業部
		グリーンエネルギー事業の活用	太陽光発電所発電事業	営業部・電設部 しらさぎエナジー
3	産業廃棄物	現業部門排出量実態把握	マニフェストの管理と分別収集の徹底	現業部門、間接部門
4	電気・水使用量	電気・水使用管理	使用量の把握と削減	管理本部 安全品質環境管理センター
5	化学物質	SDSに基づく適正管理	倉庫の整理・整頓（SDS製品の徹底管理）	現業部門 安全品質環境管理センター
6	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と部会に参加し環境教育を実施する	安全品質環境管理センター
		各事業所単位の環境活動支援	地域ボランティアによる環境配慮	全部門
			グリーン調達の推進	管理本部
		EA21取組み	EA21環境教育と意識の向上	全部門
	整理整頓	働きやすい環境作り、また本社移転に伴い書類の保管・廃棄	全部門	
7	SDGs	SDGsの取組み	次ページ参照	全部門

## 15. SDGsが掲げる17の目標にもチャレンジします

SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

私たちは、これまで継続して取組できたエコアクション21に関わる環境活動を活かし、社員全員を巻き込んでSDGsに取組で行きたいと思えます。



そしてその先の・・・

## 2050年の子供たちのために熊本から未来を変える



## SDGsのゴール・ターゲットとの紐付け

分野	取組内容	取組の対象	ゴール
エネルギー	使用量削減	省エネ、節電	 
	エネルギー転換	燃料電池 再生可能エネルギー	
資源	使用量削減	節約、コピー用紙 電子媒体利用	
廃棄物	発生量削減	一般廃棄物 産業廃棄物	
	3R	再利用	
大気	温室効果ガス 排出量削減	CO <sub>2</sub> 、フロン エコドライブ	 
	大気汚染物質 排出量削減	ばい煙 (NOx,SOx) エコドライブ	
水	使用量削減	水道使用料、節水	
	排水管理	下水道排水、排水処理 水質汚濁防止	 
生物多様性	事業所・社有地 での生物多様性	緑化、植林 社有林の保全・活用	
	環境教育	社員教育	 
製品・ サービス	原材料	グリーン購入	
	開発	低燃費、節電 環境配慮設計	   
	製造工程	省エネ	
雇用	条件	高齢者雇用、 出産、育児、介護	   
	環境	ワーク・ライフ・バランス 研修制度、働き方改革	 
社会・地域	貢献	防災、環境教育 寄付	    
	配慮	景観、騒音、振動、 悪臭、緑化	  

ありがとう 日本社 永い間お世話になりました。



2018.2.17 引越しの日  
(玄関前にて)

1981年5月に八代市より熊本市石原町に新築移転し、37年余り、社員やお客さま・関係者の皆さまとの数え切れない思い出を作ることが出来ました。その社屋も2016年4月の熊本地震で「半壊」という辛い判定を受け、移転する事になりました。長年過ごした社屋がなくなってしまうのは、やはり寂しい気持ちもあります。沢山の歴史を刻み、沢山のの人に愛された旧日本社、ありがとうございました。



2017.11.18 火災訓練  
(2F 執務室にて)



2017.12.14 EA21更新審査  
(1F 会議室にて)



2018.2.17 最後のラジオ体操

未来へ向かって。新社屋とともに…



SHIRASAGI